

各感染機轉(吸入點眼及ビ皮下接種)ニ由ル結核症ノ肺 ト氣管枝腺トノ結核性變化ハ何レガ原發ナルカ

(實驗的研究其三)

結核菌ノ皮下接種ニ因スル結核症ノ肺ト氣管枝腺トノ結核性
變化ハ何レガ原發ナルカ

大阪竹尾結核研究所(所長佐多博士)

醫學士 猪 俣 營 藏

目次

- 第一章 緒言
 - 第二章 實驗方法及ビ實驗材料
 - 第三章 實驗成績
 - 第一項 一、大量結核菌皮下接種試驗第五日目實驗成績
 - 二、極微量結核菌皮下接種試驗第五日目實驗成績
 - 三、小括
 - 第二項 一、大量結核菌皮下接種試驗第十日目實驗成績
 - 二、極微量結核菌皮下接種試驗第十日目實驗成績
 - 三、小括
-
- 第三項 一、大量結核菌皮下接種試驗第十五日目實驗成績
 - 二、極微量結核菌皮下接種試驗第十五日目實驗成績
-
- 第四項 一、大量結核菌皮下接種試驗第二十日目實驗成績
 - 二、極微量結核菌皮下接種試驗第二十日目實驗成績
 - 三、小括
- 第五項 一、大量結核菌皮下接種試驗第一ヶ月目實驗成績
 - 二、極微量結核菌皮下接種試驗第一ヶ月目實驗成績
 - 三、小括
- 第六項 一、大量結核菌皮下接種試驗第二ヶ月目實驗成績
 - 二、極微量結核菌皮下接種試驗第二ヶ月目實驗成績
 - 三、小括
- 第七項 一、大量結核菌皮下接種試驗第三ヶ月目實驗成績
 - 二、極微量結核菌皮下接種試驗第三ヶ月目實驗成績

三、小括

第八項 一、大量結核菌皮下接種試験第六ヶ月目實驗成績

二、極微量結核菌皮下接種試験第六ヶ月目實驗成績

三、小括

第四章 總括的觀察

第五章 結論

文獻

歐文抄錄

第一章 緒言

吾等ガ人結核ノ主症タル肺臟ノ感染ガ氣道ヨリスル氣狀感染ニ負フ處多キハコッホノ主唱トコルツト、フリユッゲノ實驗以來周知ノ事實ナルモ其ノ感染ニ際シ先ヅ肺ニ原發竈ヲ構成シテ然ル後始メテ氣管枝腺ニ續發竈ヲ形成スルカ將タ又先ヅ肺ヲ通過シテ氣管枝腺ニ達シ茲ニ原發竈ヲ構成シタル後始メテ肺ニ病竈ヲ續發スルカハ今尙ホ全ク決定セラレザル疑問ニシテ更ニ精確ナル實驗ヲ重テテ而シテ之レヲ徹定的ニ決定スルノ要アリ。

余ハ佐多博士ノ指導ニ依リ數年來全肺「ゼリーニット」ノ組織檢査法ヲ應用シテ此ノ問題ヲ決定センコトヲ期シ先ヅ噴霧結核菌吸入法ニヨリテ廣汎ノ實驗ヲ開始シ次デ結核菌點眼法ヲ用ヒテ上頸部感染試驗ヲ實行シテ同ジク「ゼリーニット」法ニヨリテ詳細ノ觀察ヲ遂ゲタリ。

然ルニ其成績ハ又之レヲ普通ノ皮下接種試験ニ基因スル結核病ノ病型ト比較對照シテ其ノ疑問ヲ完全ニ解決スルノ必要ヲ感ジ茲ニ本研究ヲ續行スルニ至リタリ。

曩ニ吾ガ研究所ニ於テ大野氏ハ腺病發生機轉ニ就テ研究スル處アリ大量結核菌接種ノ際ハ先ヅ部屬淋巴腺ニ腫脹乾酪變性等ヲ來シ續イテ遠隔全身淋巴腺及ビ諸臟器ニ結核病變ヲ惹起シ微量接種ノ場合ニハ局所ニ何等病變ヲ惹起スルコト無ク肺臟ニ結核病變ヲ屢々發見シタリト説キタルモ氣管枝腺及ビ肺臟ノ關係ニ於テハ其ノ原發ト續發トヲ對照スルニ稍々明白ヲ缺グ處アリ依テ余ハ今回ノ實驗ニ於テモ亦第一回報告ノ吸入試驗ト同様ニ海狸ノ全肺ニ互リ氣管枝腺ト共ニ連續切片ヲ作製シ詳細ノ檢索ヲ遂ゲテ本問題ヲ解決センコトヲ期シタリ。

第二章 實驗方法

竹尾結核研究所保有ノ毛利菌株「グリセリン」寒天培養一ヶ月ノモノヲ白金耳ニテ取り濾紙ニ狹ミ水分ヲ充分除去シ定量ノ上食鹽水滴下ノモトニ滅菌瑪瑙乳鉢ニテ充分磨滅シ使用量ニ應ジ稀釋セリ。

大量結核菌皮下接種試験ニ於テハ食鹽水一瓦中ニ一疋ノ結核菌ヲ含有ス。

極微量結核菌皮下接種試験ニ於テハ食鹽水一瓦中ニ十萬分ノ一疋ノ結核菌ヲ含有ス。

接種部位ハ右側腹壁皮下ヲ選ビタリ。

撲殺日

結核菌乳劑皮下接種後五日、十日、十五日、二十日、一ヶ月、二ヶ月、三ヶ月、六ヶ月目ニ撲殺剖見檢鏡ニ附ス。

實驗動物ハ海狸二〇〇瓦内外ノモノヲ二週間以上飼育シ我ガ研究所ノ食餌ニ慣ラサシメ健康ナルモノ、ミヲ使用シタリ。

結核性病變ノ表示記號

結核性病變ヲ認メザルモノヲ一

甚ダ輕微ニシテ肉眼的ニ僅カニ結節ヲ認ムルカ或ハ顯微鏡的ノ輕度ノ結核病變ヲ認ムルモノヲ十

肉眼的ニ稍々著明ニシテ顯微鏡的ニ中等度ノ結核病變ヲ認ムル場合ニハ廿

何レモ高度ナル病變ヲ呈スル場合ニハ卅

標本作製方法

余ノ實驗ノ核點ハ剖見上兩側ノ肺臟ヲ取り「フォルマリン」ニテ固定シ兩肺ヲ別々ニ氣管枝腺ト共ニ水洗シ各葉ニ「ツエロイヂン」ガ容易ニ侵入シ得ル様切り込ミ「ツエロイヂン」包埋後全肺ヲ氣管枝腺ト共ニ「ゼリー」ニシユニットトシ染色シ番號ヲ附記セリ。

第一表 大量結核菌皮下接種試験成績表

26	23	18	17	15	8	22	4	19	16	10	1	21	13	6	2	號番獸試			
三七〇〇	四〇〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	重	體		
二〇	二〇	二〇	二〇	一五	一五	一五	一五	一〇	一〇	一〇	一〇	五	五	五	五	數	日	存	生
-	-	+	+	-	+	+	-	+	+	-	+	-	+	-	+	臟		肺	脾
+	+	-	+	+	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	臟		肝	腎
-	-	+	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	臟		腎	副
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	膜	網	大	氣
+	-	+	+	-	+	+	-	-	+	-	-	-	+	-	-	腺	枝	頸	顫
-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	下	頸	顫
+	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	竇	隔	縱
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腺	蹊	鼠	腸
-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腺	膜	間	後
+	+	+	+	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	膜	腹	肝
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	門	腋	注
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	窩	上	骨
+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腺	窩	射	注
57	75	54	47	70	63	56	40	64	57	62	12	52	61	9	5	號番獸試	重	體	
四九〇	五八〇	五八〇	六四〇	三三〇	三三〇	四八〇	三〇〇	二九〇	四〇〇	二五〇	四〇〇	四八〇	五〇〇	三〇〇	二二〇	臟		肺	脾
一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	九〇	九〇	九〇	九〇	六〇	六〇	六〇	六〇	三〇	三〇	三〇	三〇	臟		肝	腎
+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-	+	+	+	+	臟		腎	副
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	膜	網	大	氣
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	枝	頸	顫
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腺	下	頸	顫
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腺	竇	隔	縱
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	蹊	鼠	腸
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腺	膜	間	後
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腺	膜	腹	肝
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	門	腋	注
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	窩	上	骨
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺	窩	射	注

原 著 猪俣II各感染機轉ニ由ル結核症ノ肺ト氣管枝腺トノ結核性變化ハ何レガ原發ナルカ(其三)

原 著 猪俣II各感染機轉ニ由ル結核症ノ肺ト氣管枝腺トノ結核性變化ヘ何レガ原發ナルカ(其三)

第二表 極微量結核菌皮下接種試驗成績表

67	41	33	58	43	36	32	24	28	39	30	42	44	38	31	29	號 番 獸 試
三〇二〇	二二〇	三三〇	三三〇	二二〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	重 體
二〇	二〇	二〇	二〇	一五	一五	一五	一五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	數 日 存 生
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	臟 臟
-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	脾 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	肝 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腎 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	副 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大 網 膜
-	+	+	+	-	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	氣 管 枝
+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	頸 腺
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	下 腺
-	+	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	隔 竇 腺
+	+	+	+	+	+	+	-	+	-	-	-	+	-	-	-	鼠 蹊 膜
+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	間 腹 膜
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	+	-	-	-	後 肝 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腋 窩 上 骨 鎖 注
-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	部 射
78	77	71	74	68	55	48	72	52	51	49	34	50	53	45	27	號 番 獸 試
四三八〇	六三〇	五九〇	六四〇	四三〇	四二〇	四二〇	四二〇	四二〇	五三〇	五三〇	四四〇	四四〇	三二〇	三二〇	三二〇	重 體
一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	九〇	九〇	九〇	九〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	三〇	三〇	三〇	數 日 存 生
-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	-	臟 臟
+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	脾 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	肝 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腎 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	副 臟
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大 網 膜
-	+	+	+	-	+	+	+	-	+	-	+	-	+	+	+	氣 管 枝
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	頸 腺
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	下 腺
+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	隔 竇 腺
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	鼠 蹊 膜
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	間 腹 膜
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	後 肝 臟
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	腋 窩 上 骨 鎖 注
+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	部 射

第三章 實驗成績

第二項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第五日目

第二號♭ 試驗開始時體重一七〇瓦、撲殺時一九〇瓦

肉眼の所見 注射部位に約豌豆大ニ腫脹シ黃色ノ膿瘍ヲ形成ス、部屬鼠蹊淋巴腺ハ右側米粒大二個 左側米粒大一個腫脹シ大網膜ニ著變ヲ認メズ。淋巴腺に顎下腺米粒大三個、頸腺ノ腫脹ヲ見ズ縱隔蜜腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、氣管枝腺左右米粒大各一個何レモ髓質様腫脹、腸間膜腺小豆大二個共ニ髓質様腫脹、後腹膜腺及ヒ肝門腺腫脹セズ。脾臟に變化ナシ。肝臟に變化ナシ。腎臟に變化ナシ。肺臟に兩側下葉ノ背面ニ於テ墨粒大ノ灰白色ノ結節數個ヲ散見ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺に氣管枝腺左右共ニ充血ノ外著變ヲ認メ難シ頸腺ニ於テモ同様著變ナシ。肺臟に右側各葉ヲ通ジ一般ニ充血ヲ呈シ肺胞中隔肥厚及ビ血管周圍ノ圓形細胞浸潤ヲ散見ス。左側ニ於テモ右側ト略々同様ナルモ一般ニ肺炎ノ像右側ヨリ高度ナリ下葉ノ大氣管枝周圍ニ於テ肺胞數十倍大ノ圓形細胞結節ヲ散見ス。

第六號♭ 試驗開始時體重一九〇瓦、撲殺時體重一七〇瓦

肉眼の所見 注射部位に蠶豆大ノ扁平潰瘍ヲ形成シ既ニ乾酪變性ニ陥リ部屬鼠蹊腺米粒大二個腫脹スレドモ大網膜ニハ變化ヲ認メズ。淋巴腺に顎下腺米粒大三個、頸腺左右米粒大一個、氣管枝腺右側米粒大一個左側腫脹セズ。脾臟に變化ナシ。肝臟に變化ナシ。腎臟に變化ナシ。肺臟に容積稍々膨大シ所々ニ充血ノ個所ヲ數個散見ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺に氣管枝腺頸腺共ニ充血ノ外著變ナシ。肺臟に兩側各葉ヲ通ジ一般ニ充血シ肺胞中隔ノ肥厚及ビ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ圓形細胞浸潤ヲ散シ氣管枝肺炎ノ像顯著ナリ。

第十三號♭ 試驗開始時體重三〇〇瓦、撲殺時體重三〇〇瓦

肉眼の所見 注射部位に拇指頭大ニ腫脹シ黃色ヲ呈シ中央ハ既ニ乾酪變性ニ陥リ部屬鼠蹊淋巴腺ハ三個腫脹スルモ大網膜ニ於テハ何等變化ヲ認メズ。淋巴腺に顎下腺米粒大三個、頸腺左右共米粒大各二個、氣管枝腺右側米粒大一個、左側腫脹セズ腸間膜腺小豆大一個、米粒大二個、鼠蹊腺左側米粒大二個腫脹ス。脾臟に變化ナシ。肝臟に變化ナシ。腎臟に變化ナシ。肺臟に容積普通ニシテ稍々充血シタル個所二三ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺に頸腺氣管枝腺共ニ著變ヲ認メ難シ。肺臟に左右各葉ヲ通ジ一般ニ充血著明ニシテ血管周圍ニ於テ小圓形細胞浸潤高度ニシテ各葉ノ中央大氣管枝ノ周圍ニ於テ氣管枝肺炎ノ像殊ニ著シク所々ニ肺胞數倍大ノ圓形細胞結節ヲ散見ス。

第二十一號♭ 試驗開始時體重三三〇瓦、撲殺時體重三四〇瓦

原 著 猪俣に各感染機轉ニ由ル結核症ノ肺ト氣管枝腺トノ結核性變化ハ何レガ原發ナルカ(其三)

肉眼の所見 注射部位ハ大豆大ノ扁平潰瘍ヲ形成シ其色黃色ニシテ部屬鼠蹊淋巴腺ノ腫脹ヲ見ズ。淋巴腺ハ頸下腺及ビ頸腺ノ腫脹ナシ。氣管枝腺左右小豆大各一個腫脹ス。脾臟ハ變化ナシ。肝臟ハ變化ナシ。腎臟ハ變化ナシ。肺臟ハ右側後面ニ暗赤色ヲ呈スル豌豆大ノ斑點數個ヲ認メ其表面僅カニ隆起ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺ハ氣管枝腺及ビ頸腺共ニ濾胞稍；著明ニシテ一部少數ノ上皮様細胞ヲ認ム。肺臟ハ一般ニ充血ヲ認メ左右各葉ヲ通ジテ氣管枝肺炎竈ヲ微シ前號ノ如ク中央大氣管枝ノ周圍ニ於テ肺炎ノ像著明ナルヲ認ム右側各葉共ニ肺炎竈ノ一部吸收サレ肺胞浸潤著明ナル個所ヲ認ム。

第一項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第五日目

小括

本試驗ニ於テハ肉眼のニ第二十一號ノ氣管枝腺ハ左右兩側共ニ各小豆大ニ腫脹シ顯微鏡的ニハ濾胞ノ中央ニ上皮様細胞ノ集簇ヲ證明シ第二號及ビ第十三號ノ肺臟ハ肉眼のニ兩側下葉ノ脊柱ニ沿ヒ罌粒大ノ結節數個ヲ散見シ顯微鏡的ニ結核性病變ヲ證明ス。

第一項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第五日目

第二十九號 試驗開始時體重二八〇瓦、撲殺時體重二八〇瓦

肉眼の所見 注射部位ハ接種部位ニ於テハ著變ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺米粒大一個、半米粒大一個腫脹ス大網膜ニ於テハ著變ヲ認メ難シ。淋巴腺ハ頸下腺半米粒大二個、頸腺ニ於テハ腫脹ヲ認メズ氣管枝腺右側ノミ米粒大一個、腸間膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟ハ變化ナシ。肝臟ハ容積普通ナルモ充血著シ。腎臟ハ變化ナシ。肺臟ハ容積稍；増大シ充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡の所見 淋巴腺ハ左右共ニ濾胞著明ニシテ一部ニ明疎ナル部ヲ微シ詳見スルニ上皮様細胞ノ増殖ヲ證明ス。肺臟ハ右側下葉ノ下端及ビ中葉大氣管枝ノ周圍ニ於テ小圓形細胞結節數個ヲ認ム左側ニ於テモ右側ト同様ナルモ唯下葉ノ下端ニ數個ノ小圓形細胞結節ヲ認ム。

第三十一號 試驗開始時體重三六〇瓦、撲殺時體重三三〇瓦

肉眼の所見 注射部位ハ著變ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺米粒大二個大網膜ニ著變ナシ。淋巴腺ハ頸下腺半米粒大三個、頸腺左右共米粒大二個、氣管枝腺左右共半米粒大各一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟ハ變化ナシ。肝臟ハ變化ナシ。腎臟ハ變化ナシ。肺臟ハ容積稍；膨大シ充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メズ。

顯微鏡の所見 淋巴腺ハ氣管枝腺ニ於テハ左右共ニ濾胞著明ニシテ中央部ノ明疎ナル部分ヲ詳見スルニ可ナリ多數ノ上皮様細胞ヲ微ス。肺臟ハ右側下葉及ビ左側上葉ニ於テ數個ノ小圓形細胞結節ヲ證明シ一部ノ血管周圍ニ於テハ輕度ノ小圓形細胞浸潤ヲ微ス、左側ニ於テモ殆ンド同様ナル像ヲ呈ス。

第三十八號 試驗開始時體重三〇〇瓦、撲殺時體重三一〇瓦

肉眼の所見 注射部位に著變ヲ認め難シ部屬鼠蹊淋巴腺ニ於テモ同様變化ヲ認めズ。淋巴腺に顎下腺半米粒大三個、頸腺左右共半米粒大各一個、氣管枝腺腫脹セズ。脾臟に變化ナシ。肝臟に變化ナシ。腎臟に變化ナシ。肺臟に容積膨大充血ヲ呈スル外著變ナシ。

顯微鏡の所見 淋巴腺に氣管枝腺及ビ頸腺共ニ著變ヲ認めズ。肺臟に稍；充血ヲ呈シ一部ノ血管周圍ニ極メテ輕度ノ細胞浸潤ヲ徵スルノ外著變ヲ認め難シ。
第四十四號ニ 試驗開始時體重一六〇瓦、撲殺時體重一八〇瓦

肉眼の所見 注射部位に著變ヲ認めズ部屬鼠蹊淋巴腺ニ於テモ同様著變ヲ認め難シ。淋巴腺に顎下腺腫脹セズ頸腺左右小豆大各一個、氣管枝腺小豆大左右各一個、腸間膜腺大豆大二個腫脹ス。脾臟に變化ナシ。肝臟に變化ナシ。腎臟に變化ナシ。肺臟に容積稍；増大充血ノ外著變ヲ認め難シ。

顯微鏡の所見 淋巴腺に氣管枝腺比較の濾胞著明ニシテ一部ノ明疎ナル箇所ヲ詳見スルニ可ナリ多數ノ上皮様細胞ノ浸潤ヲ徵ス。肺臟稍；充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認め難シ。

第一項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第五日目

小括

本試驗ニ於テハ第四十四號ノ一頭ノミ肉眼のニ氣管枝腺小豆大ニ腫脹シ顯微鏡的ニ濾胞ニ於テ上皮様細胞ノ集團ヲ徵ス、其他ノ試驗ニ於テハ肺臟及ビ氣管枝腺ニ著變ヲ認め難シ。

第二項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第十日目

第一號ニ 試驗開始時體重一六〇瓦、撲殺時體重一八五瓦

肉眼の所見 注射部位に豌豆大ニ腫大シ充血高度ニシテ稍；硬結ヲ呈シ部屬鼠蹊淋巴腺米粒大二個腫脹ス。淋巴腺に顎下腺米粒大一個、頸腺左右各米粒大二個、氣管枝腺左右米粒大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個共ニ髓質様腫脹、左側鼠蹊腺半米粒大一個腫脹ス。脾臟に變化ヲ認めズ。肝臟に變化ナシ。腎臟に變化ナシ。肺臟に容積普通ナルモ稍；充血ヲ呈シ右側中葉ノ上部ニ於テ半透明ナル粟粒大ノ結節一個ヲ認めム。

顯微鏡の所見 淋巴腺に氣管枝腺ニ於テハ淋巴管內ニ小數ノ大單核圓形細胞ノ遊出ヲ徵スルノ外著變ヲ認め難シ。肺臟に血管周圍ニ可ナリ高度ノ圓形細胞浸潤ヲ徵スルノ外右側穹隆部ニ於テ圓形細胞結節ヲ比較的多數證明ス、尙ホ右側下中葉ノ上部ニ於テモ同様ナル像ヲ徵スレドモ何レモ上皮様細胞ヲ認めズ尙ホ一部ニ於テ肺胞數倍大ノ圓形細胞浸潤ヲ證明ス。

第十號ニ 試驗開始時體重一七〇瓦、撲殺時體重二〇〇瓦

肉眼の所見 注射部位に稍；硬結ヲ呈シ豌豆大ニ腫脹ス、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大一個腫大ス。淋巴腺に顎下腺腫脹セズ頸腺左右米粒大各一個、氣管枝腺左側

ノ米粒大一個、後腹膜腺米粒大二個何レモ髓質樣腫脹左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟 變化する。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 容積稍、膨大シ其色暗赤色ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テ著變ヲ認メ難シ頸腺ニ於テモ同様著變ナシ。肺臟 一般ニ充血高度ニシテ一部ノ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ於テ圓形細胞浸潤著明ニシテ且ツ所々肺胞大ノ圓形細胞結節ヲ散見ス何レモ上皮樣細胞浸潤ヲ認メ難シ。

第十六號

試驗開始時體重三五〇瓦、撲殺時體重三六〇瓦
肉眼の所見 注射部位 蠶豆大ノモノ及ビ小豆大ノモノ各一個宛腫脹シ其色黃色ヲ呈シ中ニ乾酪樣物質ヲ容ル部屬鼠蹊淋巴腺ハ米粒大二個腫脹シ共ニ髓質樣ナリ。脾臟 容積約一倍半ニ腫大シ米粒大ノ結節ニ疑ハシキモノ少數ヲ散見ス。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 兩側各葉ヲ通シ充血ヲ呈シ粟粒大ノ結節ノ疑アルモノ數個ヲ散見ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ兩側共ニ充血ヲ呈シ一部ニ於テハ淋巴濾胞著明ニシテ同時ニ淋巴竇加答兒ノ像ヲモ證明ス。肺臟 兩側各葉ヲ通シ一部ノ血管周圍竝ビニ氣管枝周圍ニ於テ可ナリ高度ノ圓形細胞浸潤ヲ散見ス尚ホ所々肺胞數倍大ノ圓形細胞結節ヲ認メ結節ノ中央ノ一部ニ於テハ上皮樣細胞ヲ散見ス。

第十九號

試驗開始時體重三五〇瓦、撲殺時體重三四〇瓦
肉眼の所見 注射部位 大豆大ニ腫脹シ中ニ乾酪樣物質ヲ容ル部屬鼠蹊淋巴腺ハ米粒大三個何レモ髓質樣ニ腫脹ス。淋巴腺 氣管枝腺半米粒大左右各一個、頸腺右側米粒大二個、左側米粒大一個、腸間膜腺小豆大一個、後腹膜腺小豆大一個、左側鼠蹊腺半米粒大一個何レモ皆髓質樣ニ腫脹ス。脾臟 容積普通大ニシテ充血ヲ呈スレドモ結節ヲ認メズ。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 兩側各葉ヲ通シ小豆大乃至麻實大ノ出血斑ヲ散見シ尚ホ左側下葉ノ中央部ニ於テ粟粒大ノ結節一個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺稍、充血シ淋巴竇加答兒ノ外著變ヲ認メズ。肺臟 左右兩側各葉ヲ通シ所々比較的廣汎ナル血液ヲ肺胞内ニ證明シ同時ニ肺胞上皮及ビ淋巴球ノ少數ヲ認ム尚ホ氣管枝周圍及ビ血管周圍ニ圓形細胞浸潤強ク右側下葉ニ於テ肺胞十數倍大ノ圓形細胞結節數個ヲ認ム。

第二項 一、大量結核菌劑皮下接種試驗第十日目

小 括

本試驗ニ於テハ第十六號ノ氣管枝腺ハ兩側共ニ小豆大ニ腫脹シ顯微鏡的ニハ濾胞内ノ結核性病變及ビ脾竇加答兒等ヲ徵ス第一號ニ於テハ肉眼的ニ肺臟ノ右側中葉ノ上部ニ於テ半透明ニシテ粟粒大ノ結節一個ヲ認メ尚ホ顯微鏡的ニモ結核性

病變ヲ證明ス。第十六號ニ於テハ肉眼のニ肺臟ニ數個ノ結節ヲ徵シ尙ホ顯微鏡的ニモ結核性病變ヲ認ム、第十九號ニ於テハ肉眼のニ粟粒大ノ結節ヲ徵シ顯微鏡的ニ結核性病變ヲ認ム。

第二項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第十日目

第四十二號♀ 試驗開始時體重一九〇瓦、撲殺時體重二四〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ局所ニ何等ノ變化ヲ認メズ又部屬鼠蹊淋巴腺ノ腫脹ヲ認メズ。淋巴腺ニ各腺共ニ腫脹ヲ認メズ。脾臟ニ變化ナシ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ變化ナシ。肺臟ニ變化ナシ。

第三十號♂ 試驗開始時體重三六〇瓦、撲殺時體重三一五瓦

肉眼の所見 注射部位ニ何等ノ變化ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺米粒大一個、半米粒大一個腫脹シ何レモ充血著明ナリ。淋巴腺ニ頸腺右側米粒大二個、左側米粒大一一個、氣管枝腺腫脹セズ左側鼠蹊淋巴腺米粒大三個腫脹ス。脾臟ニ變化ナシ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍、膨大シ稍、充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ氣管枝及ビ頸腺共ニ著變ヲ認メズ。肺臟ニ左右兩側ヲ通シ一般ニ充血シ血管周圍ニ於テ極メテ輕微ナル圓形細胞浸潤ヲ認ムルノ外著變ナシ。

第三十九號♀ 試驗開始時體重三五〇瓦、撲殺時體重三六〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ著變ヲ認メ難シ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個腫脹ス。淋巴腺ニ頸腺右側米粒大二個、左側米粒大一一個、半米粒大一一個、氣管枝腺左右共ニ半米粒大各一個、腸間膜腺小豆大一一個腫脹ス。脾臟ニ變化ナシ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ結節ヲ認メザレドモ所々充血高度ナル肺炎竈ノ像ヲ呈スルモノ數個ヲ散見ス。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ右側氣管枝腺ニ於テハ濾胞著明ニシテ中央ニ比較的多數ノ上皮様細胞ヲ徵シ淋巴竇内ニ於テ大單核圓形細胞ノ遊出ヲ證明ス左側氣管枝腺ニ於テハ著變ヲ認メ難シ。肺臟ニ一般ニ充血高度ニシテ肺胞中隔ノ肥厚右側下葉ノ下端ニ於テ比較的廣汎ナル肺炎竈ヲ證明シ血液既ニ吸收サレ細胞浸潤ノミヲ徵ス上葉ニ於ケル側面ノ一部ニ前記同様ノ肺炎竈ヲ徵シタリ左側ニ於テハ著變ヲ認メ難シ。

第二十八號♂ 試驗開始時體重三五〇瓦、撲殺時體重三四〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ著變ヲ認メ難シ部屬鼠蹊淋巴腺ニ於テハ半米粒大三個腫脹ス。淋巴腺ニ氣管枝腺左右各半米粒大一一個頸腺ノ腫脹ヲ見ズ腸間膜腺小豆

大一個、左側鼠蹊腺米粒大一個、半米粒大一個腫脹ス。脾臟 變化する。肝臟 變化する。肺臟 容積稍、膨大シ充血高度ナルモ結節ノ疑ハシキモノナシ。

顯微鏡的所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ淋巴管内ニ大單核圓形細胞ノ小數ヲ認ムルノ外著變ヲ認メ難シ。肺臟 一部ノ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ於テ圓形細胞浸潤ヲ微シ尙ホ肺細胞數倍大ノ圓形細胞結節ヲ微シタリ。

第二項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第十日目

小 括

本試驗ニ於テハ各試獸共ニ氣管枝腺及ビ肺臟ニ特記スベキ變化ヲ認メ難シ。

第三項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第十五日目

第四號 試驗開始時體重二三〇瓦、撲殺時體重二二〇瓦

肉眼の所見 注射部位 大豆大ノ硬結ヲ認メ其他黄色ヲ呈シ中央ハ乾酪變性ニ陥ル部屬鼠蹊淋巴腺大豆大二個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺半米粒大三個、頸腺右側米粒大一個、半米粒大一個、左側半米粒大二個、縱隔蜜腺左右共ニ半米粒大各一個、氣管枝腺左右共小豆大各一個、腸間膜腺大豆大一個、米粒大一個、後腹膜腺小豆大一個、左側鼠蹊腺小豆大二個腫脹ス。脾臟 容積普通大ナルモ表面粗糙ヲ呈スルノ外著變ナシ。肝臟 著變ナシ。肺臟 一般ニ淡朱色ヲ呈シ容積稍、膨大シ右側中葉ニ於テ粟粒大ノ二個ノ赤褐色ヲ呈スル斑點ヲ認ム。

顯微鏡的所見 淋巴腺 右側氣管枝腺ニ於ケル淋巴濾胞著明ニシテ一部ニ於テハ小數ノ上皮樣細胞ヲ認ム左側ニ於テモ略、同様ナル像ヲ呈ス 肺臟 一般ニ充血ヲ呈シ左側中央ノ氣管枝周圍ニ於テ血液吸收サレ重ニ細胞浸潤ヲ有スル肺炎竈ヲ微シ中葉ニ於テモ同様ナリ。

第二十二號 試驗開始時體重三八〇瓦、撲殺時體重四〇〇瓦

肉眼的所見 注射部位 稍、充血ヲ呈スル外著變ナシ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺頸腺共ニ腫脹セズ縱隔蜜腺左右米粒大各一個、氣管枝腺左右共ニ小豆大各一個、腸間膜腺大豆大一個、米粒大一個、後腹膜腺大豆大二個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個腫脹。脾臟 變化する。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 容積稍、増大シ血量ニ富ムノ外著變ヲ認メズ。

顯微鏡的所見 淋巴腺 右側氣管枝腺ニ於テハ濾胞著明ニシテ一部ニ於テ上皮樣細胞ヲ微シ髓質ニ於テモ所々上皮樣細胞ヲ認ム左側ニ於テハ著變ヲ認メ難シ。肺臟 右側下葉及ビ中葉ノ大氣管枝周圍ニ於テ氣管枝肺炎ヲ密發ス。同時ニ血管周圍ニ於テ輕度ノ圓形細胞浸潤ヲ認ム。左側ニ於テハ下葉ノ穹隆部ニ於テ可ナリ高度ノ氣管枝肺炎ヲ微シ尙ホ所々ノ血管周圍ノ圓形細胞浸潤内ニ上皮樣細胞ヲ證明ス。而シテ同側下葉ノ大氣管枝周圍ニハ稍、血液ノ吸收サレタ

ル肺炎竈ヲ徴シ中葉及ビ上葉ニ於テ著明ナル細胞浸潤ヲ有スル肺炎竈約六七個ヲ認ム。

第八號♂ 試驗開始時體重二二〇瓦、撲殺時體重二〇〇瓦

肉眼の所見 注射部位ハ小豆大ニシテ稍々硬結ヲ呈シ切割スルニ乾酪様物質ヲ容レズ部屬鼠蹊淋巴腺ニ於テハ小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺ハ頸下腺米粒大二個、頸腺右側小豆大二個、左側小豆大一個、米粒大一個、縱隔竇腺右側ノミ米粒大一個、氣管枝腺左右各小豆大一個、腸間膜腺大豆大二個、後腹膜腺小豆大一個、米粒大一個、左側鼠蹊腺米粒大三個腫脹ス。脾臟ハ容積稍腫大スルノ外著變ヲ認メズ。肝臟ハ稍充血ノ外著變ナシ。腎臟ハ變化ナシ。肺臟ハ容積稍々膨大シ淡朱色ヲ呈シ各葉ヲ適シ出血ヲ徴ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺ハ氣管枝腺ニ於テハ左右共ニ體質稍々充血シ濾胞内ニ上皮様細胞ヲ徴ス、尙淋巴管内ニ大單核圓形細胞ノ小數ヲ證明ス。肺臟ハ一般ニ充血ヲ呈シ左右各葉共ニ大氣管枝周圍ニ於テ比較的廣汎ナル肺炎竈ヲ證明シ尙ホ血管周圍ニ圓形細胞浸潤及ビ側面ニ於テ數個ノ圓形細胞結節ヲ證明シ内ニ上皮様細胞小數ヲ徴ス。

第十五號♀ 試驗開始時體重三四〇瓦、撲殺時體重三四〇瓦

肉眼の所見 注射部位ハ蠶豆大ニ腫脹シ中央部ハ既ニ乾酪變性ニ陥ル部屬鼠蹊淋巴腺大豆大一個、小豆大一個腫脹ス。淋巴腺ハ頸下腺米粒大三個、頸腺左右共ニ半米粒大各二個、氣管枝腺及ビ縱隔竇腺各米粒大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺小豆大一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟ハ表面粗糙ニシテ容積稍々増大シ結節ノ疑アルモノ數個ヲ認ム。肝臟ハ稍々充血ヲ呈スルノ外著變ナシ。腎臟ハ變化ナシ。肺臟ハ一般ニ淡朱色ヲ呈シ容積稍々膨大シ所々ニ暗赤色ヲ呈スル大小種々ノ肺炎竈ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ハ氣管枝腺ニ於テハ濾胞稍々著明ナルノ外著變ナシ。肺臟ハ兩側各葉共ニ氣管枝周圍ニ於テ肺炎竈ヲ證明シ遠心部ニ於テモ同様の小ナル肺炎竈ヲ徴シ尙ホ血管周圍ニ於テ小圓形細胞浸潤ヲ認ム。

第三項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第十五日目

小括

本試驗ニ於テハ第二十二號ノ氣管枝腺ハ肉眼のニ小豆大ニ腫脹シ濾胞著明ニシテ中央ニ上皮様細胞ヲ證明シ肺臟ニ於テハ肉眼のニ著變ヲ認メ難キモ顯微鏡的ニハ僅カニ結核性病變ヲ證明ス第四號ニ於テハ肉眼のニ氣管枝腺ハ小豆大ニ腫脹シ濾胞内ニ上皮様細胞ノ集簇ヲ認メ第八號ニ於テハ顯微鏡的ニ肺臟ニ結核性病變ヲ證明ス。

第三項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第十五日目

原 著 猪俣ハ各感染機轉ニ由ル結核症ノ肺ト氣管枝腺トノ結核性變化ハ何レガ原發ナルカ(其三)

第二十四號 試驗開始時體重三一〇瓦、撲殺時體重三三〇瓦

肉眼の所見 注射部位 著變ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺米粒大一個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺米粒大三個、頸腺右側米粒大二個、左側米粒大三個、縱隔竇腺及腋窩腺米粒大各一個、氣管枝腺米粒大二個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺米粒大一個腫脹ス。脾臟 變化ナシ。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 一般ニ充血ヲ呈スルノ外著變ナシ。

顯微鏡所見 淋巴腺 氣管枝腺兩側共ニ濾胞比較的著明ニシテ一部ニ於テ上皮様細胞ノ小數ヲ認ム尙ホ淋巴竇加答兒著明ナリ。肺臟 右側各葉ヲ通ジテ中央氣管枝周圍及ビ血管周圍ニ圓形細胞浸潤中等度ニシテ遠心部ニ於テ所々肺胞數倍大ノ圓形細胞結節ヲ證明ス。

第三十二號 試驗開始時體重三二〇瓦、撲殺時體重三四〇瓦

肉眼の所見 注射部位 著變ナシ部屬鼠蹊淋巴腺米粒大二個腫脹ス。淋巴腺 頸腺及ビ顎下腺共ニ腫脹セズ縱隔竇腺米粒大各一個、氣管枝腺米粒大各一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺米粒大二個腫脹ス、左側鼠蹊腺米粒大一個、半米粒大一個腫脹ス。脾臟 變化ナシ。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 左右兩側共ニ充血高度ヲ呈スルノ外著變ナシ

顯微鏡的所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テ著變ヲ認メ難シ。肺臟 左右兩側ヲ通ジ氣管枝周圍並ビニ血管周圍ニ細胞浸潤ヲ徵スルノ外著變ナシ。

第三十六號 試驗開始時體重四二〇瓦、撲殺時體重四四〇瓦

肉眼の所見 注射部位 痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺米粒大二個、頸腺左右共ニ小豆大各一個、氣管枝腺左右共ニ小豆大一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個腫脹ス。脾臟 變化ナシ。肝臟 變化ナシ。腎臟 著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺 左右兩側共ニ氣管枝腺ニ於テハ淋巴濾胞著明ニシテ一部ノ濾胞内ニ於テハ小數ノ上皮様細胞ヲ證明シ淋巴竇加答兒ヲ認ム。肺臟 稍充血ヲ認メ各葉ノ中央ニ於テ血管周圍並ビニ氣管枝周圍ニ於テ小圓形細胞浸潤ヲ證明ス。

第四十三號 試驗開始時體重二二五瓦、撲殺時體重二五〇瓦

肉眼の所見 注射部位 痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺米粒大三個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺米粒大三個、頸腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側米粒大一個、縱隔竇腺米粒大左右各一個、氣管枝腺右側米粒大一個、腋窩腺左右米粒大各一個、腸間膜腺小豆大三個、後腹膜腺米粒大一個半、米粒大一個腫脹ス。脾臟 變化ナシ。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 一般ニ充血ヲ呈スルノ外著明ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺 氣管枝腺ハ淋巴濾胞右側ニ於テ顯著ニシテ其一部ニ上皮様細胞ヲ認メ淋巴竇加答兒ヲ證明ス。肺臟 左右兩側各葉ノ中央大氣管枝ノ周圍ニ於テ中等度ノ圓形細胞浸潤ヲ散見スルノ外稍輕度ノ氣管枝肺炎ヲ認ム。

第三項 一、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗十五日目

小括

本試驗ニ於テハ第三十六號ノ氣管枝腺ノミニ僅カニ結核性病變ヲ徴シ他ノ試獸ニ於テハ何等ノ變化ヲ認メ難シ。

第四項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第二十日目

第十七號♀ 試驗開始時體重三二〇瓦、撲殺時體重三二〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ大豆大ノ硬結ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪性物質ヲ容レズ部屬鼠蹊淋巴腺ハ豌豆大二個、小豆大一個腫脹シ共ニ輕度ノ充血ヲ呈ス。淋巴腺ニ顎下腺小豆大二個、米粒大一個、頸腺右側小豆大二個、左側小豆大一個、米粒大一個、氣管枝腺左右小豆大各一個、縱隔竇腺右側米粒大一個、左側腫脹セズ肝門腺豌豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、左側鼠蹊腺米粒大二個、半米粒大一個腫脹ス。脾臟ニ容積約倍大ニ腫脹シ灰白黃色ニシテ膠粒大ノ表面稍、隆起セル結節密發スルヲ認ム。肝臟ニ充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積普通大ナルモ淡朱色ヲ呈シ右側下葉ニ結節ノ疑アルモノ一個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ右側氣管枝腺ハ濾胞一般ニ著明ニシテ一部ノ明疎ナル部ヲ詳見スルニ上皮様細胞ヲ散見シ左側淋巴腺ニ於テ著變ナシ。肺臟ニ右側ニ於テハ一般ニ充血ヲ呈シ下葉ノ前側面ニ於テ稍、潮溼性ノ肺炎竈ヲ微シ内ニ多數ノ細胞浸潤ヲ證明ス尙ホ後面ニ位シ重ニ氣管枝ノ周圍ニ於テ輕度ナル肺炎竈ノ結核ニ移行セルモノヲ微ス上葉ノ下面ニ於テ上記同様ノ肺炎竈ヲ所々ニ認ム左側ニ於テハ重ニ大氣管枝周圍ニ於テ肺炎ノ結核ニ移行スル像ヲ微ス。

第十八號♀ 試驗開始時體重三五〇瓦、撲殺時體重三四〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ大豆大ノ硬結ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪性物質ヲ藏ス部屬鼠蹊淋巴腺小豆大三個腫脹ス。淋巴腺ニ顎下腺米粒大三個、頸腺右側小豆大三個、米粒大一個、内小豆大二個ハ充血ス、左側小豆大一個。米粒大二個、内一個ハ充血ス。縱隔竇腺左右共ニ小豆大各一個、氣管枝腺右側小豆大一個、左側米粒大二個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大三個、後腹膜腺腫脹セズ左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大三個腫脹ス。脾臟ニ約三倍大ニ腫大シ質稍、軟ニシテ表面平滑ヲ呈スレドモ結節ノ疑アルモノヲ認メズ。肝臟ニ至ル處膠粒大ヨリ粟粒大ノ灰白色ヲ呈スル結節密發スルヲ認ム。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積普通大ナルモ表面稍、粗糙ニシテ右側各葉ヲ通シ血量ニ富ミ且ツ同側各葉共ニ結核ノ疑アルモノ數個ヲ散見ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ一般ニ氣管枝腺ニ於テハ左右共ニ濾胞著明ニシテ其一部ニ於テ上皮様細胞ノ集團ヲ認ム。肺臟ニ一般ニ充血顯著ニシテ左右兩側共ニ大氣管枝周圍ニ肺炎竈ノ結核ニ移行セル像ヲ微シ遠心部ニ於テ肺胞數倍大ノ小圓形細胞結節ヲ所々ニ於テ證明ス。

第二十三號♀ 試驗開始時體重三六〇瓦、撲殺時體重四〇〇瓦

原 著 猪俣ニ各感染機轉ニ由ル結核症ノ肺ト氣管枝腺トノ結核性變化ハ何レガ原發ナルカ(其三)

肉眼の所見 注射部ニ蠶豆大ノ硬結ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪樣物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺ハ豌豆大一個、小豆大一個、前者ハ黃色ヲ呈シ切割スルニ乾酪樣物質ヲ容ル。淋巴腺ニ顎下腺米粒大二個、頸腺右側小豆大一個、米粒大二個、左側小豆大二個、米粒大一個、縱隔竇腺左右小豆大各一個、氣管枝腺左右小豆大各一個、腸間膜腺豌豆大二個、肝門腺豌豆大一個、後腹膜腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、左側鼠蹊腺米粒大四個腫脹ス。脾臟ニ容積稍ク膨大シ嚢粒大ヨリ粟粒大ノ灰白色ノ表面隆起セル結節多數密發ス。肝臟ニ著變ヲ認メズ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ左右兩側各葉ヲ通シ一般ニ血量ニ乏シク所々小葉性肺炎ノ像ヲ呈ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ淋巴濾胞著明シテ右側ハ髓質ニ於テ著明ナル結核性病變ヲ徵ス、左側ニ於テハ著變ヲ認メ難シ。肺臟ニ兩側各葉共ニ大氣管枝周圍ニ於テ肺胞數十倍大ノ肺炎竈ノ結核ニ移行セル像ヲ認メ尙ホ遠心部ニ位シテ肺胞數倍大或ハ十數倍大ノ小圓形細胞結節又ハ肺炎竈ヲ證明ス。

第二十六號子 試驗開始時體重三〇〇瓦、撲殺時體重三五〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ大豆大ノ硬結ヲ觸レ黃色ヲ呈シ切割スルニ中ニ乾酪樣物質ヲ容ル部屬鼠蹊淋巴腺ハ小豆大二個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺ニ顎下腺米粒大二個、半米粒大一個、頸腺右側小豆大二個、米粒大二個、內小豆大一個ハ充血ス左側小豆大一個、米粒大一個、縱隔竇腺左右共小豆大各一個、氣管枝腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大三個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒一個腫脹ス。脾臟ニ約一倍半大ニ腫脹シ表面滑澤ニシテ結節ヲ認メズ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ容積稍ク増大シ表面稍ク粗糙ニシテ兩側共ニ血量ニ富ミ結節ノ疑アルモノ二三ヲ散見ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ氣管枝腺ニ於テ濾胞著明ニシテ一部ニ上皮樣細胞ヲ證明ス。肺臟ニ一般ニ充血シ大氣管枝ノ周圍ニ肺炎竈ノ結核性病變ニ移行シアル像ヲ徵ス、尙ホ遠心部ニ肺胞數倍大ノ小圓形細胞結節ヲ所々ニ證明ス。

第四項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第二十日目

小 括

本試驗ニ於テハ第二十六號、第十八號及ビ第十七號ノ氣管枝腺ハ小豆大ニ腫脹シ檢鏡的ニ何レモ結核性病變ヲ徵ス第十七號及ビ第十八號ニ於テハ肺臟ニ於テモ亦輕度ノ結核性病變ヲ證明ス。

第四項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第二十日目

第五十八號子 試驗開始時體重二七〇瓦、撲殺時體重二九〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ小豆大ニシテ稍ク硬結ヲ呈スルモ切割スルニ中ニ乾酪樣物質ヲ藏セズ部屬鼠蹊淋巴腺ハ小豆大三個腫脹ス。淋巴腺ニ顎下腺粟粒大

一個、米粒大一個、頸腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側小豆大二個、米粒大一個、氣管枝腺右側小豆大二個、左側小豆大一個、米粒大一個、肝門腺小豆大二個、腸間膜腺豌豆大二個、小豆大一個、後腹膜腺小豆大一個、米粒大一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟||表面粗糙ニシテ灰白色ヲ呈スル粟粒大結節ヲ散見ス。肝臟||著變ヲ認メ難シ。腎臟||變化ナシ。肺臟||兩側各葉ヲ通シ容積膨大シ充血顯著ナルモ結節ノ形成ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺||氣管枝腺右側ニ於テハ髓質ノ大部分ハ結核性病竈ニ移行シ淋巴濾胞ノ中央ニ於テモ上皮樣細胞ノ小數ヲ證明ス。尙ホ左側ニ於テモ右側ト殆ンド同様ニシテ主ニ髓質ニ廣汎ナル結核性病變ヲ徵ス。肺臟||兩側各葉ヲ通ジ主ニ大氣管枝ノ周圍ニ於テ肺胞數十倍大ノ肺炎竈ヲ證明シ尙ホ氣管枝周圍ニ於ケル淋巴節ハ前記ノ氣管枝腺ト同様殆ンド上皮樣細胞ヲ徵ス。

第三十三號

試驗開始時體重三九〇瓦、撲殺時體重四二五瓦
肉眼の所見 注射部位||米粒大ニ腫脹シ硬結ヲ呈スレドモ著變ナシ、部屬鼠蹊淋巴腺米粒大三個腫脹ス。淋巴腺||顎下腺小豆大一個、米粒大一個、頸腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側小豆大二個、米粒大一個、縱隔竇腺左右米粒大各一個、氣管枝左右各小豆大一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大三個、後腹膜腺米粒大一個、半米粒大一個、左側鼠蹊腺米粒大三個腫脹ス。脾臟||變化ヲ認メ難シ。肝臟||變化ナシ。腎臟||變化ナシ。肺臟||稍々充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺||氣管枝腺ニ於テハ殆ンド結核性病變ニ移行シ濾胞内ニ於テモ亦小數ノ上皮樣細胞ヲ徵ス。肺臟||左右兩側各葉ヲ通ジ大氣管枝周圍ニ於テ輕度ノ肺炎竈ヲ認メ尙ホ遠心部ニ於テモ小數ノ肺炎竈ヲ證明ス。

第四十一號

試驗開始時體重一九〇瓦、撲殺時體重二三五瓦
肉眼の所見 注射部位||痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺||顎下腺米粒大二個、頸腺左右小豆大各一個、米粒大一個、縱隔竇腺右側米粒大一個、半米粒大一個、氣管枝腺左右小豆大各一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺右側米粒大一個稍々充血ス左側半米粒大一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟||著變ヲ認メ難シ。肝臟||變化ナシ。腎臟||變化ナシ。肺臟||容積稍々増大シ充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺||氣管枝腺左右共ニ前號ノ如ク主ニ髓質ヲ侵シ淋巴濾胞内ニ於テモ小數ノ上皮樣細胞ヲ徵ス。肺臟||前號ノ如ク大氣管枝周圍ニ於テ主ニ肺炎竈ヲ徵シ遠心部ニ於テモ前記同様數個ノ小圓形細胞結節ヲ徵ス。

第六十七號

試驗開始時體重二六〇瓦、撲殺時體重二八五瓦
肉眼の所見 注射部位||痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺||頸腺下米粒大三個、頸腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側米粒大二個、縱隔竇腺右側米粒大一個、左側半米粒大一個、氣管枝腺左右共小豆大各一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺

米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米粒大一一個腫脹ス。脾臟 變化する。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 稍、充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メズ。顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テ濾胞著明ニシテ髓質ニ於テ上皮様細胞ヲ徵ス。肺臟 兩側各葉ヲ通シ充血シ大氣管枝周圍ニ於テ輕度ノ肺炎竈ヲ證明シ尙ホ遠心部ニ於テモ小數ノ肺炎竈ヲ徵ス。

第四項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第二十日目

小 括

本試驗ニ於テハ第五十八號、第二十三號及ビ第四十一號ノ氣管枝腺ハ小豆大ニ腫脹シ顯微鏡のニハ明カニ結核性病變ヲ證明ス第五十八號ノ肺臟ニ於テモ僅カニ結核性病變ヲ徵ス。

第五項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第一ケ月目

第五號♀ 試驗開始時體重二二〇瓦、撲殺時體重三〇〇瓦

肉眼の所見 注射部位 大豆大ニ腫脹シ稍、硬結ヲ呈シ中ニ乾酪様物質ヲ容ル部屬鼠蹊淋巴腺ハ豌豆大一一個、小豆大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺米粒大二個、頸腺左右兩側共ニ小豆大各二個、縱隔竇腺左側ノ米粒大一一個、氣管枝腺右側豌豆大一一個、小豆大一一個、左側小豆大一一個、肝門腺小豆大一一個、半粒大一一個、腸間膜腺豌豆大二個、小豆大一一個、後腹膜腺右側大豆大ニシテ黃色ヲ呈シ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、左側小豆大一一個、左側鼠蹊腺小豆大二個、米粒大一一個腫脹ス。脾臟 容積稍、膨大シ表面組織ニシテ粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節數個ヲ散發シ邊緣ハ多少鋸齒狀ヲ呈ス、肝臟 容積普通ナルモ粟粒大ノ灰白色ヲ呈スル結節ヲ散發ス。腎臟 變化ナシ。肺臟 容積膨大稍、充血ヲ呈シ左側下葉ニ出血斑ヲ徵シ其他所々ニ肺炎竈ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ髓質及ビ濾胞ノ一部殆ンド結核性病變ニ侵カサレ周圍ニ結締織増殖シ一部ハ既ニ乾酪變性ニ陥ル。肺臟 右側大氣管枝ノ周圍ニ氣管枝肺炎カ既ニ結核性病變ニ移行セル像ヲ認メ上葉及ビ中葉ノ前面ニ於テ各一個ノ結核病竈ヲ證明シ後面ニ至ルニ從ヒ上葉ニ約三個ノ結核病竈ヲ徵シ大氣管枝周圍ニ於テ可ナリ多數ノ淋巴結節ヲ認メ一部ノ淋巴結節内ニ結核病竈ヲ證明ス、尙ホ周圍ノ細胞浸潤内ニ多數ノ上皮様細胞群ヲ徵シ氣管枝腺ノ附著部ニ相當シテ未ダ初期ノ氣管枝肺炎ノ像ヲ證明ス、左側ニ於テモ右側ト略ク同様ナル像ヲ呈スレドモ其ノ病變稍ク弱シ。

第九號♂ 試驗開始時體重二二〇瓦、撲殺時體重三三〇瓦

肉眼の所見 注射部位 鶏豆大ニ腫脹シ腹壁ニ癒著ス切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス部屬鼠蹊淋巴腺ハ大豆大二個腫脹シ共ニ乾酪様物質ヲ藏ス。淋巴腺 顎下腺小豆大二個、頸腺右側小豆大二個、米粒大一一個、左側豌豆大一一個、小豆大一一個、縱隔竇腺兩側共ニ米粒大各一個、氣管枝腺右側豌豆大一一個、左側大豆大一一個、肝門腺豌豆大一一個、小豆大一一個、腸間膜腺小豆大三個、後腹膜腺右側豌豆大一一個内ニ乾酪性物質ヲ藏ス左側小豆大一一個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米

粒大二個腫脹ス。脾臟||容積稍、腫大シ粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節多數密發シ邊緣ハ鋸齒狀ヲ呈ス。肝臟||粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節多數ヲ認メ其實稍、硬シ。腎臟||變化ナシ。肺臟||淡朱色ヲ呈シ各葉ヲ通ジ粟粒大ノ結節ヲ散見シ特ニ兩側下葉ノ脊柱ニ沿ヒ結節ノ數ヲ増ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺||兩側共ニ氣管枝ニ於テハ髓質及ビ濾胞内ニ多數ノ上皮様細胞ヲ認メ一部ハ既ニ乾酪變性ニ陥リ健康ナル淋巴組織ヲ殆ンド認メ難シ。肺臟||左右兩側共ニ結核病竈ヲ散見スルモ其ノ數少ク而シテ其形大ナリ後面ニ位シテ比較的多數ノ結核病竈ヲ證明ス何レモ該病竈ノ周圍ニハ少數ノ結締織ノ増殖ヲ認ム尙ホ一部ノ大氣管枝周圍ニ肺炎竈ヲ微シタリ。

第六十一號

試驗開始時體重二三〇瓦、撲殺時體重二七〇瓦
肉眼の所見 注射部位||蠶豆大ニシテ稍、硬結其色黄色ヲ呈シ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ容ル部屬鼠蹊淋巴腺ハ大豆大一個、小豆大二個腫脹シ内大豆大一個ハ乾酪様物質ヲ藏ス。淋巴腺||顎下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺右側小豆大二個、米粒大一一個腫脹ス左側ハ小豆大一個、米粒大一一個、縱隔竈腺左右共米粒大各一個、氣管枝腺ハ右側大豆大一個、左側小豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、肝門腺豌豆大一個、後腹膜腺右側大豆大一個之レニハ乾酪様物質ヲ藏ス左側小豆大一個、左側鼠蹊腺小豆大二個、米粒大一一個腫脹ス。脾臟||容積稍、腫大シ且ツ表面粗糙ニシテ粟粒大ヨリ粟粒大ノ表面灰白色ヲ呈スル結節數個ヲ散見ス。肝臟||容積普通ナルモ粟粒大ヨリ粟粒大ノ灰白色ヲ呈セル結節數個ヲ散見ス。腎臟||著變ナシ。肺臟||容積稍、膨大シ充血ヲ呈シ右側中葉ニ灰白色ヲ呈セル粟粒大ノ結節二個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺||氣管枝腺ニ於テハ左右共ニ健康淋巴組織ヲ認メ能ハザル程度ノ結核性病變ニ侵カサレ且ツ乾酪變性ニ陥リ周圍ハ結締織ノ増殖ヲ僅カニ證明ス。肺臟||左右兩側各葉ヲ通ジ一部ノ氣管枝周圍ニ結核性病變ヲ微シ氣管枝腺ノ附著部ニ相當シテ肺炎竈ヲ認メ右側中葉ニ於テ大ナル結核性病變ヲ微スルト同時ニ各葉ノ遠心部ニ於テ小數ノ結核性病變ヲ散見ス。

第五十二號

試驗開始時體重二三〇瓦、撲殺時體重三三〇瓦
肉眼の所見 注射部位||小指頭大ニ腫脹シ黄色ヲ呈シ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス部屬鼠蹊淋巴腺大豆大一個、小豆大一個腫脹シ共ニ乾酪様物質ヲ容ル。淋巴腺||顎下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺右側小豆大二個、左側大豆大一個、小豆大一個、縱隔竈腺左右共ニ米粒大各一個、氣管枝腺右側大豆大一個、左側小豆大一個、米粒大一一個、肝門腺豌豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺米粒二個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一一個、半米粒大一一個腫脹ス。脾臟||容積稍、膨大シ表面粗糙ニシテ邊緣ハ鋸齒狀ヲ呈シ粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節多數密發ス。肝臟||容積稍、膨大シ粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節多數ヲ認ム。腎臟||變化ナシ。肺臟||容積稍、増大シ淡朱色ヲ呈シ粟粒大ノ結節多數ヲ認メ殊ニ兩側下葉ニ於テ結節ノ數ヲ増ス。
顯微鏡の所見 淋巴腺||氣管枝腺ニ於テ濾胞著明ニシテ髓質内ニ多數ノ上皮様細胞ヲ證明シ一部ハ乾酪變性ニ陥ルヲ微ス。肺臟||兩側各葉共ニ僅カニ結核性病變ヲ證明ス。尙ホ後面ニ位シテ比較的多數ノ結核性病變ヲ微シ其周圍ニ於テ結締織ノ増殖ヲ認ム。

第五項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第一ヶ月目

小 括

本試驗ニ於テハ第五號及ビ第九號ノ氣管枝腺豌豆大ニ腫脹シ第六十一號及ビ第五十二號ノ氣管枝腺ハ大豆大ニ腫脹ス顯微鏡的ニハ何レモ結核性病變顯著ナリ第九號ノ肺臟ニ於テハ中等度ノ結核性病變ヲ認メ他ノ三頭ノ試獸ニ於ケル結核性病變ハ輕度ナリ。

第五項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗一ヶ月目

第二十七號♀ 試驗開始時體重三七〇瓦、撲殺時體重四〇〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ痕跡ヲ認メ難シ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個共ニ切割スルニ乾酪様物質ヲ藏ス。淋巴腺ニ顎下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺右側豌豆大一個、充血著明米粒大一個、左側豌豆大一個、充血中等度小豆大一個、縱隔竇腺兩側小豆大各一個、氣管枝腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側小豆大一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺豌豆大一個、小豆大一個、米粒大一個、後腹膜腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟ニ容積普通ナルモ粟粒大ノ表面隆起セル結節三個ヲ認ム。肝臟ニ著變ヲ認メズ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍、膨大シ其色赤色ヲ呈シ左側上葉及ビ下葉ニ於テハ所々肺炎竈ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ氣管枝腺ニ於テハ濾胞稍、著明ニシテ内ニ極メテ小數ノ上皮様細胞ヲ認ムルモ結核性病變ト稱シ難シ。肺臟ニ氣管枝周圍ニ小數ノ淋巴節ヲ證明シ周圍ニ初期ノ肺炎竈ヲ認ムルノ外著變ヲ徵シ難シ。

第四十五號♀ 試驗開始時體重二〇〇瓦、撲殺時體重二九〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ小豆大ニシテ切割スルニ乾酪様物質ヲ容ル部屬鼠蹊淋巴腺豌豆大一個、小豆大一個共ニ乾酪様物質ヲ藏ス。淋巴腺ニ顎下腺小豆大一個、米粒大一個、頸腺右側小豆大二個、左側米粒大一個、縱隔竇腺腫脹セズ氣管枝腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側米粒大一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、米粒大一個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個腫脹ス。脾臟ニ著變ヲ認メズ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍、腫大シ所々帽針頭大乃至小豆大ノ出血斑及ビ肺炎竈ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ氣管枝腺ニ於テハ淋巴濾胞ノ中央ニ極メテ小數ノ上皮様細胞ヲ微ス髓質内ニ於テモ所々上皮様細胞ヲ認ム。肺臟ニ氣管枝周圍ニ於テ小數ノ淋巴節ヲ認メ右側上葉ニ於テ比較的廣汎ナル初期ノ肺炎竈ヲ認メ中ニ數個ノ圓形細胞結節ヲ認ム。

第五十三號♀ 試驗開始時體重二五〇瓦、撲殺時體重三一〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ著變ヲ認メ難シ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大二個腫脹ス、前者ハ乾酪様物質ヲ藏ス。淋巴腺ニ顎下腺小豆大一一個、米粒大一一個、頸腺右側小豆大二個、内一個ハ充血ス。左側大豆大一一個、縱隔竇腺右側小豆大一一個、左側米粒大一一個、氣管枝腺左右小豆大各一個、肝門腺大豆大一一個、腸間膜腺豌豆大一一個、小豆大一一個、後腹膜様左右各米粒大一一個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟ニ容積増大シ粟粒大ヨリ粟粒大ノ表面稍隆起セル結節數個ヲ散見ス。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍増大シ所々ニ小豆大ノ出血斑及ビ肺炎竈ヲ認ム。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ氣管枝腺左右共ニ髓質及ビ一部ノ淋巴細胞内ニ極メテ小數ノ上皮様細胞ヲ認ム。肺臟ニ氣管枝周圍ニ於テハ小數ノ圓形細胞浸潤ヲ認メ所々ニ於テ輕度ノ初期肺炎竈ヲ微シ内ニ小圓形細胞結節ヲ認ム。

第五十號♀ 試驗開始時體重二四〇瓦、撲殺時體重二七〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ小豆大ノ硬結ヲ觸レ黄色ヲ呈シ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺ハ豌豆大一一個、小豆大一一個共ニ乾酪様物質ヲ藏ス。淋巴腺ニ顎下腺小豆大一一個、米粒大二個、頸腺右側小豆大一一個、米粒大一一個、左側米粒大二個、縱隔竇腺米粒大左右各一個、氣管枝腺右側小豆大一一個、米粒大一一個、左側米粒大一、肝門腺小豆大一一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟ニ著變ヲ認メズ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍増大シ兩側下葉ニ出血斑ヲ微ス。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ氣管枝腺ニ瀰胞著明ニシテ瀰胞ノ中央竝ビニ髓質内ニ極メテ小數ノ上皮様細胞ヲ證明ス。肺臟ニ兩側各葉共ニ充血著明ニシテ氣管枝周圍及ビ血管周圍ニ小圓形細胞浸潤ヲ微シ下葉ニ於テ廣汎ナル肺炎竈ヲ證明ス。

第五項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第一ヶ月目

小括

本試驗ニ於テハ第二十七號、第四十五號及ビ第五十三號ノ氣管枝腺ハ何レモ小豆大ニ腫脹シ顯微鏡的ニ輕度ノ結核性病變ヲ認ムルノ外著變ナシ。

第六項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第二ヶ月目

第十二號♀ 試驗開始時體重三六〇瓦、撲殺時體重五一〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ豌豆大ノ扁平ナル黄色ノ潰瘍ヲ形成シ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺ハ小豆大一一個、米粒大一一個共ニ髓質様腫脹。淋巴腺ニ顎下腺小豆大二個、頸腺左右共ニ小豆大各一個何レモ充血ス、縱隔竇腺左右各米粒大一一個、氣管枝腺右側豌豆大一一個、左側小豆大二個、肝門腺小豆大一一個、腸間膜腺豌豆大一一個、小豆大一一個、後腹膜腺小豆大各一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟ニ容積稍増大シ粟粒大ノ結節一個ヲ認ム。肝臟ニ

變化ナシ。腎臟 變化する。肺臟 容積稍増大スレドモ結節ノ疑アルモノヲ認メ難シ但シ充血中等度ヲ呈ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ右側淋巴管内ニ大單核圓形細胞ノ遊出ヲ認メ 髓質内ニ於テ約三個ノ結核病竈ヲ證明シ其周圍ニ小數ノ結締織ヲ認ム 右側モ同様主トシテ髓質ニ結核病竈ヲ認メ互ヒニ相融合シ周圍ニ結締織ヲ認ム。肺臟 氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ノ一部ニ於テ小圓形細胞結節ヲ認ムル外著變ヲ認メズ。

第六十二號♀ 試驗開始時體重三四〇瓦、撲殺時體重四八〇瓦

肉眼の所見 注射部位 小指頭大ノ黄色ヲ呈スル膿瘍ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス部屬淋巴腺小豆大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺右側小豆大一個、米粒大一個共ニ充血ス縱隔竇腺左右共ニ米粒大二個、氣管枝腺右側大豆大一個、左側小豆大一個、肝門腺大豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺米粒大二個左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個何レモ充血ヲ呈ス。脾臟 容積稍増大充血ヲ呈スレドモ結節ヲ認メズ。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 容積稍増大シ練瓦色ヲ呈シ充血中等度ヲ呈スレドモ結節ノ疑アルモノヲ認メズ。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ髓質ニ明瞭ナル部ヲ證明シ詳見スルニ多數ノ上皮様細胞及ビ結締織ヲ微ス。肺臟 左右兩側各葉ヲ通シ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ於テ大小種々ノ圓形細胞結節ヲ認メ一部ニ於テハ輕度ノ肺炎竈ヲ證明ス。

第五十七號♀ 試驗開始時體重三三〇瓦、撲殺時體重四六〇瓦

肉眼の所見 注射部位 蠶豆大ノ扁平ニシテ稍硬結ヲ呈セル肺瘍ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺大豆大一個、米粒大一個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺米粒大二個、頸腺右側小豆大一個、左側小豆大一個、縱隔竇腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、氣管枝腺左右共ニ小豆大各一個、肝門腺大豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺米粒大一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟 容積稍増大表面粗糙ニシテ結節ノ疑アルモノ二三ヲ認ム。肝臟 著變ヲ認メズ。腎臟 變化する。肺臟 容積稍増大シ血量ニ富ミ右側中葉ノ下部ニ於テ結節ノ疑アルモノ一個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ殆ソド前號ノ同様ナル像ヲ呈ス。肺臟 兩側各葉ヲ通シ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ細胞浸潤ヲ微シ各葉共ニ所々小數ノ肺炎竈ヲ證明シ氣管枝周圍ノ圓形細胞浸潤ト共ニ上皮様細胞ノ小數ヲ微ス。

第六十四號♀ 試驗開始時體重三二〇瓦、撲殺時體重四三〇瓦

肉眼の所見 注射部位 拇指頭大ノ黄色ヲ呈セル膿瘍ヲ形成シ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大一個、米粒大一個腫脹シ何レモ充血ヲ呈ス。淋巴腺 顎下腺小豆大一個、米粒大一個、頸腺左右共小豆大各一個、米粒大一個、縱隔竇腺左右共ニ米粒大各二個、氣管枝腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側小豆大一個、肝門腺豌豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大二個腫脹シ共ニ充血ス。脾臟 容積稍増大シ充血ヲ呈スルモ結節ノ疑アルモノヲ認メズ。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 容積稍増大シ其色練瓦色ヲ呈シ充血スレドモ結節ノ疑アルモノ

ヲ認メズ。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ髓質ノ明疎ナル部ヲ詳見スルニ多數ノ上皮様細胞及ビ結締織ヲ證明ス。肺臟 左右兩側各葉共ニ氣管枝周圍及ビ血管周圍ニ於テ小圓形細胞結節ヲ證明シ尙ホ一部ニ於テハ肺炎竈ヲモ徵ス又一部ニ於ケル肺胞大ノ結節ヲ詳見スルニ小數ノ上皮様細胞ヲ認ム。

第六項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第二ヶ月目

小括

本試驗ニ於テハ第十二號ノ氣管枝腺豌豆大ニ腫脹シ第六十二號ニ於テハ大豆大ニ腫脹シ第六十四號ニ於テハ小豆大ニ腫脹シ何レモ顯微鏡的ニ結核性病變ヲ證明ス。第五十七號及ビ第六十四號ニ於テハ肉眼的及ビ顯微鏡的ニ肺臟ニ輕度ノ結核性病變ヲ徵ス。

第六項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第二ヶ月目

第三十四號 試驗開始時體重三九〇瓦、撲殺時五二〇瓦

肉眼的所見 注射部位 小豆大ノ稍、硬結ヲ呈セル黃色ノ腫瘍ヲ觸レ切割スルニ乾酪様物質ヲ容ル、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、内一個ハ乾酪様物質ヲ容ル、大網膜ニ於テハ何等ノ變化ヲ認メズ。淋巴腺 頸下腺小豆大二個、米粒大一個、頸腺右側小豆大二個、米粒大二個共ニ一個宛充血ス、縱隔竈腺米粒大左右各一個、氣管枝腺左右小豆大各一個、米粒大二個、肝門腺小豆大二個、腸間膜腺豌豆大一個、後腹膜腺左右共小豆大各一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個腫脹ス。脾臟 容積稍、増大シ顆粒大ヨリ粟粒大ノ結節多數密大ス。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 容積稍、増大シ充血中等度ニシテ兩側各葉ヲ通シ上葉及ビ下葉ノ側面ニ位シ帽針頭大ノ黃色ヲ呈スル半透明ノ結節一個ヲ認ム。

顯微鏡的所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テ淋巴竈加答兒ヲ徵スルノ外著變ヲ認メズ。肺臟 左右兩側各葉ヲ通シ稍、輕度ノ充血ヲ認メ左側下葉ニ於テ後面ニ位シ中央ニ一個ノ肺炎竈ヲ徵シ上葉ノ側面ニ於テモ更ニ一個ヲ徵ス右側ノ中葉及ビ下葉ニ於テモ亦肺炎竈各一個宛ヲ證明ス、尙ホ上葉及ビ下葉ニ於テ大ナル結核病竈數個ヲ證明ス。

第四十九號 試驗開始時體重四四〇瓦、撲殺時體重五四〇瓦

肉眼的所見 注射部位 小豆大ノ黃色ヲ呈スル腫瘍ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺ハ小豆大二個、内一個ハ充血シ大網膜ニ變化ナシ。淋巴腺 頸下腺小豆大二個、米粒大一個、頸腺左右共小豆大各一個、縱隔竈腺右側大豆大一個、左側小豆大一個、氣管枝腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、肝門腺小豆大一個、米粒大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺左右米粒大各一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個腫脹ス。脾臟

容積膨大稍く充血ヲ呈シ表面粗糙ナルモ結節ヲ認メズ。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 容積稍く増大シ左右兩側共ニ下葉ニ於テ二個ノ肺炎竈ヲ徵ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ淋巴竇加答兒ヲ認ムルノ外著變ナシ。肺臟 左右兩側各葉ヲ通ジ中等度ノ充血ヲ呈シ右側下葉ノ中央ニ比較的廣汎ナル肺炎竈ヲ證明ス左側ニ於テモ同様ナル像ヲ徵ス。

第五十一號 試驗開始時體重三七〇瓦、撲殺時體重四八〇瓦

肉眼の所見 注射部位 小豆大一個、半米粒大一個腫脹シ前者ハ稍く硬結シ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺ハ右側小豆大一個、米粒大二個腫脹シ大網膜ニ著變ヲ認メズ。淋巴腺 顎下腺米粒大三個、内一個ハ充血ス頸腺右側小豆大二個、左側小豆大一個、米粒大一個、縱隔竇腺左右共米粒大各一個、氣管枝腺小豆大一個、左側米粒大二個、肝門腺小豆大一個、米粒大一個、腸間膜腺豌豆大一個、大豆大一個、後腹膜腺左右共米粒大各一個、左側鼠蹊腺米粒大二個、半米粒大一個腫脹ス。脾臟 容積稍く増大シ充血ヲ呈スレドモ結節ヲ認メズ。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 容積稍く膨大シ充血中等度ヲ呈スルノ外著變ヲ認メズ。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テ淋巴竇加答兒ヲ呈スルノ外著變ナシ。肺臟 左右兩側ヲ通ジ血管周圍竝ビ、氣管枝周圍ノ一部ニ僅カニ小圓形細胞ノ浸潤ヲ徵ス。

第六十九號 試驗開始時體重三六〇瓦、撲殺時體重四四〇瓦

肉眼の所見 注射部位 小豆大ノ稍く硬結ヲ呈スル黃色ノ腫瘍ヲ觸レ切割スル中ニ乾酪様物質ヲ容ル。部屬鼠蹊淋巴腺ハ大豆大一個中ニ乾酪様物質ヲ藏ス。淋巴腺 顎下腺小豆大一個、米粒大一個、頸腺右側小豆大一個、左側米粒大一個何レモ充血ス縱隔竇腺左右米粒大各一個、氣管枝腺左右共小豆大各一個共ニ充血ス、肝門腺大豆大一個、小豆大一個、腸間膜腺豌豆大一個、小豆大一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟 容積稍く増大シ表面粗糙ニシテ粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節數個ヲ認ム。肝臟 變化する。腎臟 變化する。肺臟 容積稍く膨大シ充血中等度ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ前號ト同様淋巴竇加答兒ヲ證明スルノ外著變ヲ認メズ。肺臟 兩側各葉ヲ通ジ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ於テ僅カニ上皮様細胞浸潤ヲ認ム。

第六項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第二ヶ月目

小 括

本試驗ニ於テハ第三十四號及ビ第五十一號ノ二頭ニ於テ氣管枝腺小豆大ニ腫脹シ顯微鏡的ニハ結核性病變ヲ徵シ第二十

四號ノ肺臟ニ於テ肉眼的及ビ顯微鏡的ニ著明ナル結核性病變ヲ認ム。

第七項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第三ケ月目

第四十號♭ 試驗開始時體重二四〇瓦、撲殺時體重三九〇瓦

注射部位ニ痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大一個、米粒大二個腫脹シ大網膜ニ變化ナシ。淋巴腺ニ顎下腺米粒大三個、頸腺左右共小豆大各一個、氣管枝腺右側大豆大一個、左側小豆大各一個、縱隔竇腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、肝門腺小豆大一個、後腹膜腺米粒大二個、腸間膜腺大豆大二個、左側鼠蹊腺米粒大三個腫脹ス。脾臟ニ變化ナシ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍ク増大シ左側ハ一般ニ充血ヲ呈シ特ニ左側下葉ニ於テ結節ノ疑アルモノ一二ヲ認ム。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ氣管枝腺ニ於テハ左側濾胞著明ニシテ髓質ノ中央部ニ於テ中央ハ乾酪變性ニ陥リ周圍ニ上皮様細胞及ビ結締織ノ増殖高度ナル結核病竈ヲ認ム。肺臟ニ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ於テ小圓形細胞浸潤強ク其ノ周圍ニ於テ結締織ノ増殖ヲ認メ各葉ヲ通シ小圓形細胞肺胞數倍大ノモノヲ徵シ其一部ハ中央ニ於テ上皮様細胞ヲ認メ其周圍ニ結締織ノ増殖ヲ認ム。

第五十六號♭ 試驗開始時體重二八〇瓦、撲殺時體重四二〇瓦

肉眼的所見 注射部位ニ痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大一一個腫脹ス。淋巴腺ニ顎下腺米粒大二個、小豆大一一個、頸腺左右共ニ小豆大各一個、氣管枝腺右側小豆大一個、米粒大一一個、左側小豆大一一個、縱隔竇腺左右米粒大各一個、腸間膜腺大豆大二個、小豆大一一個、後腹膜腺米粒大二個、肝門腺小豆大一一個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米粒大一一個、半米粒大一一個腫脹ス。脾臟ニ表面粗糙ニシテ粟粒大ノ灰白色ヲ呈スル結節數個ヲ散見ス。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍、膨大シ右側上葉ノ後面ニ於テ灰白色ヲ呈スル粟粒大ノ結節一個ヲ認ム左側中葉ニ於テモ同様數個ノ結節ヲ認ム。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ氣管枝腺ニ前記同様ノ像ヲ證明シ左側淋巴腺ノ髓質内ニ於テ治癒ニ向ヒツ、アル結核性病竈ヲ徵ス。肺臟ニ兩側各葉共ニ多數ノ小圓形細胞結節ヲ徵シ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ノ小圓形細胞結節其一部ニ於テハ上皮様細胞及ビ結締織ヲ證明ス。

第六十三號♭ 試驗開始時體重三〇〇瓦、撲殺時體重四八〇瓦

肉眼的所見 注射部位ニ大豆大ノ稍、硬結ヲ呈スル腫瘍ヲ觸レ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス部屬鼠蹊淋巴腺ハ大豆大一一個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺ニ顎下腺右側小豆大一一個、左側米粒大一一個、頸腺右側小豆大二個、左側米粒大一一個、縱隔竇腺米粒大二個、氣管枝腺右側大豆大一一個、左側小豆大二個、腸間膜腺大豆大一一個、後腹膜腺米粒大二個、肝門腺米粒大一一個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟ニ容積稍、膨大スレドモ表面滑澤ニシテ充血ヲ呈スル外著變ヲ認メ難シ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍、膨大スルノ外何等ノ變化ヲ認メ難シ。

顯微鏡的所見 淋巴腺ニ氣管枝腺ニ於テハ濾胞稍、著明ナルノ外變化ヲ認メズ。肺臟ニ兩側各葉ヲ通シ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ於テ多數ノ小圓形細胞結

節ヲ認メ其一部ニ上皮様細胞ヲ微シ周圍ニ結締織ノ増殖ヲ認ム。

第七十號 試驗開始時體重三五〇瓦、撲殺時體重四七〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大一一個腫脹ス。淋巴腺ニ顎下腺右側小豆大一一個、右側米粒大二個、頸腺右側小豆大一一個、米粒大一一個、縦隔竇腺米粒大二個、氣管枝腺左右共小豆大各一個、肝門腺大豆大一一個、腸間膜大豆大一一個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟ニ容積稍、膨大充血著明ナレドモ結節ヲ認メズ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍、膨大兩側ヲ通シ充血ヲ呈シ左側下葉ニ結節ノ疑アルモノ數個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ氣管枝腺濾胞著明ニシテ髓質ノ中央部ニ於テハ中央部ニ於テハ中央部ニ乾酪變性ニ陥リ周圍ニ上皮様細胞及ビ結締織ノ増殖ヲ認ム。肺臟ニ氣管枝周圍及ビ血管周圍ニ於テ小圓形細胞浸潤著明ニシテ其ノ周圍ニ於テ結締織増殖ヲ認メ兩側各葉共ハ肺胞數倍大ノ小圓形細胞結節ヲ認ム。

第七項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第三ヶ月目

小 括

本試驗ニ於テハ第四十號ノ氣管枝腺ハ大豆大ニ腫脹シ他ノ三頭ハ小豆大ニ腫脹シ顯微鏡的ニハ何レモ輕度ノ結核病變ヲ證明ス尙ホ各號ヲ通シ顯微鏡的輕度ノ結締織ノ増殖セル結核性病變ヲ認ム。

第七項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種第三ヶ月目

第七十二號 試驗開始時體重三一〇瓦、撲殺時體重四五〇瓦

肉眼の所見 注射部位ニ大豆大ノ硬結ヲ觸レ中心部ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大一一個切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ容ル。淋巴腺ニ顎下腺小豆大二個、頸腺小豆大二個内一個ハ充血、左側小豆大一一個、縦隔竇腺右側ノ米粒大一一個、氣管枝腺右側小豆大一一個、左側米粒大一一個、肝門腺小豆大一一個、腸間膜腺小豆大三個、後腹膜腺右側小豆大一一個、左側米粒大一一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟ニ著變ヲ認メ難シ。肝臟ニ變化ナシ。腎臟ニ變化ナシ。肺臟ニ容積稍、膨大シ左側ハ一般ニ充血ヲ呈シ同側下葉ニ於テ結節ノ疑アルモノ二三ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ニ右側氣管枝腺ニ於テハ濾胞内ニ小數ノ上皮様細胞ヲ散見スルノ外著變ヲ認メ難シ。肺臟ニ左側ニ於テ充血ヲ呈シ下葉ノ心臟面ニ於テ小圓形細胞結節肺胞數倍大ノモノヲ多數散見ス右肺ニ於テハ氣管枝周圍ニ肺炎竈ノ治癒ニ向ヒツ、アル像ヲ認メ血管周圍竝ビニ氣管枝周圍ニ於テ小數ノ圓形細胞浸潤ヲ微シ肺胞大ノ圓形細胞結節ヲ各葉ニ散見ス。

第四十八號 試驗開始時體重二七〇瓦、撲殺時體重四四〇瓦

肉眼の所見 注射部位ハ大豆大ノ黃色ヲ呈スル硬結ヲ觸レ切割スルニ内ニ乾酪様物質ヲ容ル。部屬鼠蹊淋巴腺ハ小豆大二個腫脹シ内一個ハ乾酪様物質ヲ容ル。淋巴腺ハ頸下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺左右共小豆大各一個、氣管枝腺左右共小豆大各一個、肝門腺豌豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺左右共二米粒大各一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個腫脹ス。脾臟ハ容積普通ナレドモ粟粒大ノ結節數個ヲ散見ス。肝臟ハ變化ナシ。腎臟ハ容積稍、増大シ充血著明ニシテ顆粒大ノ灰白色ヲ呈スル結節數個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ハ氣管枝腺左右共二一部ノ濾胞内ニ於テ瀰蔓性ノ上皮様細胞ヲ散見ス。肺臟ハ左右兩側各葉ヲ通シ充血顯著ニシテ一部ノ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ於テ肺胞數倍大ノ小圓形細胞結節ヲ證明ス。

第五十五號

試驗開始時體重二九〇瓦、撲殺時體重四二〇瓦
肉眼の所見 注射部位ハ大豆大ニシテ黃色ヲ呈スル硬結ヲ觸レ切割スルニ乾酪様物質ヲ藏ス。部屬鼠蹊淋巴腺ハ小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺ハ頸下腺米粒大三個、頸腺右側小豆大一個、米粒大一個、左側小豆大一個、半米粒大一個、氣管枝腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺米粒大三個腫脹ス。脾臟ハ變化ナシ。肝臟ハ變化ナシ。腎臟ハ變化ナシ。肺臟ハ容積稍、増大シ左右兩側ヲ通シ一般ニ充血ヲ呈シ兩側下葉ニ於テ結節ノ疑アルモノ二三ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺ハ氣管枝腺ニ於テハ濾胞著明ニシテ其ノ一部ニ於テ上皮様細胞ヲ證明ス。肺臟ハ兩側各葉共ニ血管周圍竝ビニ氣管枝周圍ニ於テ小圓形細胞ノ浸潤ヲ徵シ肺胞大ノ小圓形細胞結節ヲ所々ニ於テ證明ス。

第六十八號

試驗開始時體重二五〇瓦、撲殺時體重四四〇瓦
肉眼の所見 注射部位ハ大豆大ニ腫脹シ其色黃色ヲ呈シ質稍、硬ク切割スル中ニ乾酪様物質ヲ藏ス。部屬鼠蹊淋巴腺ハ大豆大一個、小豆大一個、内大豆大ノ腫物ハ中ニ乾酪様物質ヲ容ル。淋巴腺ハ頸下腺小豆大一個、米粒大一個、頸腺右側小豆大一個、米粒大二個、左側小豆大一個、米粒大一個、氣管枝腺左右共小豆大各一個、肝門腺大豆大一個、小豆大一個、腸間膜腺豌豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺米粒大二個、右側鼠蹊腺小豆大一個、半米粒大二個腫脹ス。脾臟ハ容積普通ナルモ粟粒大ノ結節ニ之ヲ散見ス。肝臟ハ變化ヲ認メズ。腎臟ハ變化ナシ。肺臟ハ容積稍、腫大シ充血著シク顆粒大ノ結節數個ヲ散見ス。
顯微鏡の所見 淋巴腺ハ氣管枝腺ニ於テハ一部ノ濾胞内ニ於テ瀰蔓性ノ上皮様細胞ヲ證明ス。肺臟ハ左右兩側各葉ヲ通シ充血顯著ニシテ一部ノ血管周圍竝ビニ氣管枝周圍ニ小圓形細胞結節ヲ徵ス。

第七項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗第三ヶ月目

小括

本試驗ニ於テハ第七十二號、第四十八號及ビ第五十五號共ニ氣管枝腺ニ於テ小豆大ニ腫脹シ肺臟ニ粟粒大ノ結節ヲ認メ

顯微鏡ニ何レモ輕度ノ結核性病變ヲ徵ス。

第八項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第六ヶ月目

第四十七號

試驗開始時體重三二〇瓦、撲殺時體重六一五瓦

肉眼の所見 注射部位 大豆大ノ硬結ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個腫脹シ内一個ハ充血ス。淋巴腺 顎下腺豌豆大一個、小豆大一個、頸腺小豆大二個、左側大豆大一個、小豆大一個、縱隔竇腺右側米粒大一個、左側半米粒大一個、氣管枝腺左右兩側豌豆大各一個、肝門腺ノ腫脹ヲ見ズ腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟 變化ヲ認メ難シ。肝臟 著變ヲ認メ難シ。腎臟 變化ナシ。肺臟 容積稍、増大シ充血著明ニシテ右側中葉及ビ下葉ノ脊柱ニ沿ヒ粟粒大ノ結節各一個宛ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺 濾胞何レモ著明ニシテ小數ノ上皮様細胞ヲ證明ス。肺臟 左右兩側各葉ヲ通ジ充血著明ニシテ肺胞中隔稍、肥厚シ肺胞數倍大ノ粟粒性ノ結核性病竈ヲ各葉ニ互リテ證明シ右側中葉ノ大氣管枝周圍ニ於テ廣汎ナル氣管枝肺炎竈ヲ徵シ其中央ニ結核性病竈一個ヲ證明ス、而シテ其ノ中央ハ乾酪變性ニ陥リ周圍ハ結締織ノ増殖著明ナル像ヲ徵ス。

第五十四號

試驗開始時體重三四〇瓦、撲殺時體重五八〇瓦

肉眼の所見 注射部位 痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大一個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺右側小豆大二個、左側小豆大一個、縱隔竇腺左右共米粒大各一個、氣管枝腺右側豌豆大一個、左側小豆大一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺左右米粒大各一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個、半米粒大一個腫脹ス。脾臟 變化ナシ。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 左右兩側共ニ充血顯著ニシテ兩側ノ下葉ニ暗赤色ヲ呈スル斑點數個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ濾胞著明ニシテ中ニ瀰漫性ノ上皮様細胞浸潤ヲ證明スルコト前號ト同様ナリ。肺臟 兩側各葉ヲ通ジ一般ニ充血ヲ認メ且ツ肺炎竈廣汎ニシテ内ニ肺胞數倍大ノ粟粒性結核ヲ證明ス、尙ホ左側中葉ノ側面ニ於テ結核性病竈ニ移行セル肺炎ヲ認メ周圍ハ結締織ノ増殖高度ナルヲ徵ス。

第七十五號

試驗開始時體重三二〇瓦、撲殺時體重五八〇瓦

肉眼の所見 注射部位 痕跡ヲ認メズ、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大一個、内小豆大一個ハ充血ス。淋巴腺 顎下腺小豆大二個、米粒大一個、頸腺右側豌豆大一個、左側小豆大一個、縱隔竇腺兩側共米粒大各一個、氣管枝腺左右豌豆大各一個、肝門腺大豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟 變化ナシ。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 容積膨大稍、充血ヲ呈シ左側下葉ニ於テ灰白色ニシテ中央黃色ヲ呈スル結節一個ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺濾胞著明ニシテ中央ノ髓質ニ於テ結締織ノ小數及ビ上皮様細胞ヲ以テ成ル結核性病竈一個ヲ證明ス。肺臟 兩側各葉共ニ肺胞大ノ圓形細胞結節無數ニシテ一部ハ中央ニ上皮様細胞ヲ有シ一部ハ周圍ニ輕度ノ氣管枝肺炎ノ像ヲ有ス左側下葉ニ於テ比較的廣汎ナル肺炎竈ヲ徵シ其一部ハ既ニ結核性病竈ニ移行セル像ヲ證明ス。

第五十七號

試驗開始時體重二八〇瓦、撲殺時體重四六〇瓦
肉眼の所見 注射部位 痕跡ヲ認メズ部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺小豆大二個、米粒大一一個、頸腺右側小豆大一一個、左側小豆大一一個、米粒大一一個、縱隔窩腺左右米粒大各一個、氣管枝腺右側豌豆大一一個、左側小豆大一一個、肝門腺大豆大一一個、腸間膜腺小豆大二個、米粒大一一個、後腹膜腺米粒大二個、左側鼠蹊腺小豆大一一個、米粒大一一個、半米粒大一一個腫脹ス。脾臟 變化ナシ。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 左右兩側ヲ通シ充血ヲ呈スルノ外著變ヲ認メ難シ。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ハ濾胞著明ニシテ其ノ一部ニ上皮様細胞ノ浸潤ヲ證明ス。肺臟 一般ニ充血ヲ認メ血管周圍竝ビ氣管枝周圍ノ一部ニ於テ小圓形細胞浸潤ヲ證明シ尙ホ氣管枝肺炎竈ヲ證明ス。

第八項 一、大量結核菌乳劑皮下接種試驗第六ヶ月目

小括

本試驗ニ於テハ第四十七號、第五十四號、第七十五號ノ氣管枝腺豌豆大ニ腫脹シ第五十七號ノ氣管枝腺ハ小豆大ニ腫脹ス顯微鏡的ニハ何レモ結核性病變著明ナルヲ認ム第四十七號、第五十五號及ビ第五十七號共ニ肺臟ニ肉眼的及ビ顯微鏡的ニ輕度ノ結核性病變ヲ證明ス。

第八項 二、極微量結核菌乳劑皮下接種試驗六ヶ月目

第七十四號

試驗開始時體重三五〇瓦、撲殺時體重六四〇瓦
肉眼の所見 注射部位 小豆大ノ稍々纖維性ニシテ切割スルニ乾酪様物質ヲ藏ス。部屬鼠蹊淋巴腺ハ大豆大一一個、小豆大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺小豆大二個、頸腺左右兩側豌豆大各一個、小豆大一一個、縱隔窩腺兩側米粒大各一個、氣管枝腺右側豌豆大二個、左側大豆大一一個、小豆大一一個、肝門腺小豆大一一個、腸間膜腺豌豆大二個、後腹膜腺右側小豆大一一個、左側米粒大一一個、左側鼠蹊腺米粒大二個腫脹ス。脾臟 容積稍、膨大シ粟粒大ノ纖維性結節小數ヲ散見ス。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 兩側各葉ヲ通シ容積膨大シ血量ニ富ミ左側ニ著變ヲ認メザレドモ右側下葉ノ上半部ニ肺炎ノ像ヲ呈ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ濾胞著明ニシテ髓質充血シ濾胞内ニ上皮様細胞ノ瀰漫性浸潤ヲ認ム同時ニ「ヘモジテリン」含有細胞ノ多數ヲ證明

ス。肺臟 氣管枝周圍及ビ血管周圍ニ小圓形細胞浸潤ニヨル結節ヲ兩側ヲ通ジ證明ス右側下葉ニ於テ大氣管枝周圍ニ比較的高度ナル肺炎竈ヲ認メ一部ハ結核病竈ニ移行スル像ヲ認ム。

第七十一號 試驗開始時體重三〇五瓦、撲殺時體重五九〇瓦

肉眼の所見 注射部位 大豆大ノ硬結ヲ觸レ黃色ヲ呈シ切割スルニ内ニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大一個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺小豆大二個、米粒大一個、頸腺右側豌豆大一個、左側小豆大一個、半米粒大一個、縱隔竇腺兩側米粒大各一個、氣管枝腺右側大豆大一個、左側小豆大一個、肝門腺豌豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺大豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺左右米粒大各一個、左側鼠蹊腺米粒大三個腫脹ス。脾臟 容積普通ナルモ表面稍々粗糙ニシテ粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節數個ヲ散見ス。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 兩側各葉ヲ通ジ容積稍々膨大シ兩側下葉ニ於テ二三ノ肺炎竈ヲ認ム。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ハ濾胞著明ニシテ前記同様ノ像ヲ認ム。肺臟 左右兩側ヲ通ジ充血著明ニシテ兩側下葉ニ於テ肺炎竈ノ結核病竈ニ移行シツツアル像ヲ證明ス。

第七十七號 試驗開始時體重三二〇瓦、撲殺時體重六一〇瓦

肉眼の所見 注射部位 大豆大ノ硬結ヲ呈シ切割スルニ乾酪様物質ヲ藏ス、部屬鼠蹊淋巴腺小豆大二個、米粒大一個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺右側豌豆大一個、左側小豆大一個、縱隔竇腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、氣管枝腺左右共ニ小豆大各一個、肝門腺小豆大一個、腸間膜腺小豆大二個、後腹膜腺右側小豆大一個、左側米粒大一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。脾臟 容積稍々膨大シ表面粗糙ニシテ結節ノ疑アルモノ數個ヲ散見ス。肝臟 變化ナシ。腎臟 變化ナシ。肺臟 兩側各葉ヲ通ジ容積稍々增大シ血量ニ富ミ右側上葉ニ於テ粟粒大ノ結節一個右側下葉ニ於テ肺炎竈ノ暗赤色ノ斑點ヲ徵ス。

顯微鏡の所見 淋巴腺 氣管枝腺ニ於テハ濾胞著明ニシテ一部ニハ上皮様細胞ノ瀰漫性浸潤ヲ徵ス。肺臟 兩側各葉共ニ充血顯著ニシテ左側上葉ニ於テ中央ニ上皮様細胞ヲ有スル結核病竈ヲ認メ周圍ハ結締組織強ク増殖ス、右側下葉ニ於テ比較的廣汎ナル肺炎竈ヲ認ム何レモ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ圓形細胞浸潤結節ヲ認ム。

第七十八號 試驗開始時體重二九〇瓦、撲殺時體重五二〇瓦

肉眼の所見 注射部位 大豆大ノ黃色ヲ呈スル硬結ヲ觸レ切割スルニ中ニ乾酪様物質ヲ容ル、部屬鼠蹊淋巴腺ハ小豆大一個、米粒大二個腫脹ス。淋巴腺 顎下腺小豆大一個、米粒大二個、頸腺右側大豆大一個、左側小豆大一個、米粒大二個、縱隔竇腺左右米粒大各一個、氣管枝腺右側大豆大一個、左側小豆大一個、米粒大一個、肝門腺豌豆大一個、腸間膜腺大豆大一個、小豆大一個、後腹膜腺左右各米粒大一個、左側鼠蹊腺小豆大一個、米粒大一個腫脹ス。脾臟 容積稍

第三表 皮下接種試驗

極微量		大量		極微量		大量		極微量		大量		極微量		大量		菌量																
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	數日生存																
67	41	33	58	26	23	18	17	43	36	32	24	15	8	22	4	28	39	30	42	19	16	10	1	44	38	31	29	21	13	6	2	號番獸試
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	臟肺	
-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺枝管氣	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ビ及臟肺 腺枝管氣	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	菌量	
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	數日生存
78	77	71	74	57	75	54	47	68	55	48	72	70	63	56	40	69	51	49	34	64	57	62	12	50	53	45	27	52	61	9	5	號番獸試
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	臟肺	
-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	腺枝管氣	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ビ及臟肺 腺枝管氣	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	菌量	

原 著 猪俣 各感染機轉ニ由ル結核症ノ肺ト氣管枝腺トノ結核性變化ハ何レガ原發ナルカ(其三)

増大シ表面組織ニシテ邊縁ハ鋸齒狀ヲ呈シ粟粒大ヨリ粟粒大ノ結節數個ヲ散見ス。肝臟著變ヲ認メズ。腎臟變化作認メズ。肺臟左右兩側各葉ヲ通シ容積稍、膨大シ兩側ノ下葉ニ肺炎竈數個ヲ散見ス。

顯微鏡的所見 淋巴腺氣管枝腺濾胞著明ニシテ前記同様ノ像ヲ認ム。肺臟兩側各葉ヲ共ニ充血著明ニシテ右側下葉ニ於テハ比較的廣汎ナル肺炎竈ヲ證明シ左側モ右側ト殆ソド同様ナル像ヲ散見シ何レモ氣管枝周圍竝ビニ血管周圍ニ圓形細胞浸潤結節ヲ證明ス。

第八項 二、極微量結核菌乳劑皮
下接種試驗第六ケ月目

小 括

本試驗ニ於テハ氣管枝腺ハ第七十四號豌豆大ニシテ第七十一號ハ大豆大ニ第七十七號ハ小豆大ニ腫脹シ何レモ著明ナル結核性病變ヲ證明スレドモ肺臟ニ於テハ各試獸共ニ之レヲ發見セズ。

第四章 總括的觀察

以上詳述シタルガ如ク余ガ大量及ビ極微量結核菌皮下接種試驗ノ結果ヲ總括概觀スレバ次ノ如シ。

大量結核菌乳劑皮下接種試驗後第五日目ニ於テハ四例中二例ニハ肺臟ノミニ一例ニハ氣管枝腺ノミ

ニ結核病變ヲ發見シ一例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズ第十日目ニ於テハ二例ニハ肺臟ノミニ一例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺ニ結核病變ヲ發見シ一例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズ第十五日目ニ於テハ一例ニハ肺臟及ビ頸腺ニ一例ニハ氣管枝腺ノミニ一例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺ニ結核病變ヲ發見シ一例ニハ肺臟及ビ頸腺氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズ第二十日日ニ於テハ一例ニハ氣管枝腺ノミニ二例ニハ肺臟及ビ頸腺氣管枝腺共ニ結核病變ヲ發見シ一例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズシテ頸腺ノミニ發見ス第一ヶ月目ニ於テハ四例共ニ肺臟及ビ頸腺・氣管枝腺ニ結核病變ヲ發見シ第二ヶ月目ニ於テハ二例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺ニ二例ニハ肺臟及ビ頸腺・氣管枝腺ニ結核病變ヲ發見シ第三ヶ月目ニ於テハ四例共ニ肺臟及ビ頸腺氣管枝腺ニ結核病變ヲ發見シ、第六ヶ月目ニ於テハ一例ニハ頸腺及ビ氣管枝腺ニ三例ニハ肺臟及ビ頸腺氣管枝腺ニ結核病變ヲ發見シタリ。

極微量結核菌乳劑皮下接種試験後第五日日ニ於テハ四例中一例ニハ頸腺竝ニ氣管枝腺ノミニニ結核病變ヲ發見シ三例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズ第十五日日ニ於テハ頸腺及ビ氣管枝腺ノミニニ結核病變ヲ發見シ三例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズ第二十日日ニ於テハ頸腺ニ四例共ニ、三例ニハ氣管枝腺ニ結核病變ヲ發見シ一例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズ第一ヶ月目ニ於テハ三例ニハ氣管枝腺ニ、四例ニハ頸腺ニ結核病變ヲ發見シ一例ニハ肺臟及ビ氣管枝腺共ニ之レヲ發見セズ第二ヶ月目ニ於テハ一例ニハ頸腺及ビ氣管枝腺ニ一例ニハ肺臟及ビ頸腺氣管枝腺ニ二例ニハ頸腺ノミニニ結核病變ヲ發見シ第三ヶ月目ニ於テハ三例ニハ肺臟及ビ頸腺氣管枝腺ニ一例ニハ頸腺ノミニニ結核病變ヲ發見シタリ。第六ヶ月目ニ於テハ三例ニハ頸腺及ビ氣管枝腺ハ一例ニハ頸腺ノミニニ結核病變ヲ發見シタリ。

第五章 結 論

余ノ實驗成績ヲ通覽スルニ大量結核菌皮下接種試験ニ於テハ比較的早期ニ先ヅ肺臟ニ結核性病變ノ發生ヲ見、反之極微量結核菌皮下接種試験ニ於テハ比較的早期ニ先ヅ頸腺及ビ氣管枝腺ニ結核性病變ノ發現ヲ認ム。

即チ大量結核菌皮下接種試験ニ於テハ先ヅ肺臟ニ結核ヲ發生シ然ル後氣管枝腺結核ヲ次ヅ頸腺結核ヲ續發スルモ極微量

結核菌皮下接種試験ニ於テハ先ヅ頸腺及ビ氣管枝腺ニ結核ヲ發生シ然ル後肺臟ニ結核ヲ續發ス。
擱筆ニ際シ終始懇篤ナル指導ト校閲ノ勞ヲ辱フセル恩師佐多博士ニ對シ滿腔ノ謝意ヲ表ス。

文 獻

第一回報告ノ吸入試験ニ於ケル文獻參照。